

5・6年「一人ひとりが輝いて」

	書名	著者名	出版社	内容
1	夢への前進(スト ローク)	成田真由美	講談社	中学1年での発病で両足の感覚を失い、後年の交通事故による後遺症など、多くの苦難を乗り越えて、シドニーパラリンピック「女子水泳」で6個の金メダルを獲得した。車椅子の「水の女王」成田真由美さんの自伝。
2	転んでも、大丈夫 ぼくが義足を作る理由	転臼井二美男	ポプラ社	足を失い心に傷を負った人々を、心身ともに支え続けている臼井二美男さん。患者のどんな願いにも真摯に向き合い、前向きに挑戦する喜びを伝え続けてきた。人の命、生活を支える仕事のやりがいを語る。
3	新ちゃんがない た！	佐藤州男 作 長谷川集平 絵	文研出版	養護学校に行っていた新ちゃんが、村の学校に通うようになった。幼なじみの剛は両足の不自由な新ちゃんを助ける。小さい時泣き虫だった新ちゃんはすっかり強くなっていった。二人は6年生のいじめに立ち向かっていく。
4	WONDER ワン ダー	R・J・パラシオ 作 中井はるの 訳	ほるぷ出版	生まれつき顔に障がいがあるオーガストは、10歳で初めて学校に通うことになった。オーガストを避ける生徒がいる一方で、オーガストの話をおもしろいと感じ、そばにいる同級生も増えてきた。そんな時、夏のキャンプで大変な事件が起こり……。
5	かぎりなくやさしい花々	星野 富弘 著	偕成社	群馬大学を卒業して念願の体育教師になってわずか2か月、宙返りに失敗した著者は、一命はとりとめたものの、首から下を動かすことができなくなってしまった。9年に及ぶ入院生活の中で、口にくわえた筆で字を書く練習を始める。